

Tricolore [blanc]

作・演出 渡邊一功

登場人物

女 男

舞台上には女。
妙な格好でくつねぐ。
男が入ってくる。

あ、おかえり。
ただいま……

遅かつたね。なにしてたの?
ん……ゼミの後、生徒と一緒にメシ食つて來た。

そうなんだ。

ていうかキミに何してんの?

ストレッチ。

……そりなの?

なんか最近だるいなって思つたらカラダ動かしなかったの思い出
してさ。

だるいって……気分だけだろ。

そうだけど。で、何食べてきたの?

ん?

晩ご飯。

ああ。牡蠣。

カキ?!

え、なに?!

いいなあ、冬のカキ。フライ? 生牡蠣? 炒め物?

生だけ?……

男 女 男女 男女 男女 男女 男女 男女 男女 男女

間、僕たちは駅から歩こ三分、五九・八平米のマンションと一緒に
暮らした。
そして今日、彼女が居なくなつて三百と八十四口が経つ。

<p>男　　女　　男　　女　　男　　女　　男　　女　　男　　女　　男　　女　　男　　女</p> <p>え。 いつもと一緒にない。じゃあはい、おしまこと。 再びJCに向かう男。</p> <p>ちよつと、何があつたかくらい聞いてよ。 だつていつもと変わらないじゃない。図書館に公園に、 だからって毎日同じとは限らないでしょ。ね、何があつたか聞いて。 ……分かつたよ。じゃあ何があつたの。 ええとね……ちょっと待つて。 え? なんだつけな、いま思い出す。 ……あのさ、キミひとに話題ふつとして、 あ、そうだ! え、なに? 谷崎の全集、読み終わりました!</p> <p>ああ、幸村さんトコのおじいちゃんが読んでたヤツ? そうそう、久しぶりに図書館に来ててくれたの。何週間ぶりかな。 キミが来なくなつたって言ったのが五八日前だから八週と、 まあそれはいいや。とにかく久しぶりなの。 おじいちゃん、生きてたんだね。</p> <p>失礼なこと言うねえ……通風で入院してたつて受付のお姉さんと 喋つてた。でもやっぱり痛しうつたよ、片足ひきするみたいで。で もね、娘さんがクルマで送つてきてくれたの。あれお嫁さんなのかな? クルマ降りて玄関抜けて受付に行くまでずっと付き添つてあ げて。 へえ。</p>	<p>男　　女　　男　　女　　男　　女　　男　　女　　男　　女　　男　　女　　男　　女</p> <p>え、 良かつたじゃない、続きを読む。 え、 全集の六巻、二百九十一ページからでしょ? 私言つた、そんなこと? いや、キミが「夢食う虫」の「その四」からつて言つたから、学校の 図書館で開いてみた。 そう、それで「夢食う虫」を読んで、それから「春琴抄」と「猫と庄 三」で全巻読破。すごいでしょ。 そつか、そりやよかつた。</p> <p>男、いつの間にかJCに向つている。 ……ちよつと。 なに。 まだ続きがあるの。 えええ。 えええ、じゃなくて。 じゃあ書きながら聞いたげる。 それじゃダメ。 いいじゃない、ちゃんと聞くからさ。 ウソ、ぜつたいウソ。 なに。 いつもそう言って聞いてないもん。 聞いてるよ。 聞いてない。じゃあ昨日私が何話したか覚えてる? 森岡さんといひでじテオ見てきたんだろ?</p>
--	--

戯曲「Tricolore [blanc]」の脚本は 現在オンラインショップ「栗林ストア」で販売中です。続きを読むになりたい方は栗林ストアさんをお訪ねください。

栗林ストア

<http://store.retro-biz.com/>

なお売上金は日本赤十字社の「東北関東大震災義援金」に寄付されます。
なにより理解と協力を願っています。